

ホームカミングデー にぎやかに、若返って



卒業者表彰



福引き抽選会

「白門〇〇年支部」のぼりに集う懐かしい顔、こぼれる笑顔……。中大卒の学員を母校に迎える「ホームカミングデー」が10月24日、秋晴れの多摩キャンパスで開催された。迎えて第15回のことし、昨年までのゲスト年次方式を改め卒業年次をフリーにしたこともあって、例年より多いざっと2700人の学友が参加した。5・6・7・8号館には、卒業年次別に集合できる「同期の広場」が設けられ、何年かぶりで旧友との再会を喜び、談笑の輪がひろがった。

ザ・ドリフターズの高木ブー氏も参加。11時半から1時間半にわたり、ルナ・ハワイアンズのOBとして、中央ステージで得意のウクレレを披露、ボーカルもつとめた。「何で加藤茶は来ないの？」という演奏中のヤジには「（加藤茶が）来ちゃうと自分が中央でなくなっちゃうから」とおどけてみせ、演奏後は、Cマーク入りの帽子をかぶり、多摩キャンパスをゆったり散策した。

府中市の郷土芸能、「武蔵国府太鼓」の力強い和太鼓のアンサンブルも披露され、1号館では柳家小団治師匠（昭和42年経卒）と桂才紫さん（平成11年文卒）の寄席。演題なしの即興の演目で座をわかった。

10・24

第15回



ルナ・ハワイアン (OB) 音楽会

親子三代

ペデ下に設置された模擬店には椿山荘や赤坂プリンスホテルなどの12の出店が並び、評判のメニューをサービス価格で。京王線の南平駅前の焼き鳥の名店「よっちゃん」には30分待ち長蛇の列ができるほど。昼食時には、再会を祝して乾杯したり、剣道部だった学員は学生時代に身につけていた手拭を披露したり。親子連れの学員も多く、子供たちのフェイスペイントラリーも。豪華賞品が当たる福引き抽選会もおおにぎわいだった。

ことし初めて参加したという、学員会埼玉支部幹事長の福田陽充さん(昭和45年法卒)は「ことから全学員参加方式、大学主催、学員会協賛になったということもあって、多数の催し物が用意され、楽しい会だった。1週間前に埼玉支部の学員会総会があったが、大学からもホームカミングデーの案内があり、初めて多摩キャンパスを訪れる駿河台時代の卒業生も多かったのでは」と盛会ぶりを祝した。

終盤、中央ステージでの応援団の演技には、満席で立見が出るほどに集まり、肩を組み合せて、校歌斉唱。その胸に、若き日が熱くよみがえったにちがいない。

(学生記者 福田成幸 II 法学部3年)